

正気地区

第2層協議体



団体名

元気ステーションまさき推進委員会

スローガン

支え合いは、みんなの手で進めよう！

これまでの歩み

令和元年12月 正気地区介護予防・生活支援サービス推進委員会設立
令和2年2月 高齢者ニーズ調査の実施
ニーズ調査から見た地域課題「介護予防」と「社会参加」について、ターゲット別（外に出て参加できる人／参加したくても家から出ることができない人／参加したくない人）に協議
→令和4年度から通いの場と広報誌を開始
令和5年4月 正気地区振興協議会へ加入
令和5年11月 高齢者の外出支援実施
令和6年7月 認知症の普及啓発実施
令和7年1月 委員会の名称を「元気ステーションまさき推進委員会」に変更

協議体の特徴

東金市内で最初に第2層協議体としての設置。介護予防、社会参加として広報誌の発行や通いの場を実施。
協議体の構成員は、正気地区振興協議会、正気地区区長会、正気地区社会福祉協議会等の地域住民に加え、正気地区の社会福祉法人、医療法人も参画し、月に1回委員会を開催している。
通いの場では、利用者アンケートを実施し、利用者の声を聞きながら通いの場を企画している。



通いの場 元気ステーションまさき
「佐原の小江戸散策♪」の様子

活動実績①

高齢者ニーズ調査の結果から、「介護予防」と「社会参加」の地域課題に対するサービスの創出として、令和4年度より「通いの場 元気ステーションまさき」を実施。

年6回（奇数月）開催。介護予防に関する講話や健康体操等のプログラム実施。地域の方の幅広い参加を呼びかけ、移動手段がない方への個別送迎なども対応。

《令和6年度実績》

7月30日 参加者18名 / 9月24日 参加者48名

1月29日 参加者33名 / 3月26日 参加者32名

活動実績②

令和4年度より「広報誌 元気ステーションまさき」を発行（年4回）し、介護予防の意識啓発や、社会参加の促進を行う。

広報誌には、健康に関する知識、高齢者に優しい地元のお店の紹介、正気地区の各種団体の紹介や通いの場の開催予定などを掲載。

地区の回覧を行うとともに、民生児童委員が行う一人暮らし高齢者への見守りの際にも配布を実施。

《令和6年度実績》

4月 第8号発行 / 7月 第9号発行 / 10月 第10号発行

1月 第11号発行

活動実績③

令和5年度より「通いの場 元気ステーションまさき お楽しみバスツアー」を実施。高齢者への外出支援による介護予防と社会参加事業として、通いの場の一環で実施。

令和5年度は1回開催、令和6年度は2回開催。

《令和6年度実績》

5月26日 「そうだ！銚子に行こう！！」

銚子方面へ観光、買い物等 参加者21名

11月10日 「佐原の小江戸散策♪」

佐原方面へ観光、昼食、買い物等 参加者39名

活動実績④

令和6年度より「認知症普及啓発」を実施。通いの場のプログラム等で認知症について学ぶ機会を設け、認知症に対する住民の知識や理解を深め、気に掛け合う地域づくりを目指す。

《令和6年度実績》

○7月30日通いの場プログラム：認知症について学ぼう



通いの場 元気ステーションまさきの様子